

＜過疎地の米農家後継者を探す新たな取り組み＞

2017 年度グッドデザイン賞受賞 日本初の求人米『あととりむすこ』

群馬県桐生市を中心に活動する NPO 法人キッズバレイ（以下：キッズバレイ）は、ビジネス支援事業の一環で、桐生市の米農家の後継者を見つける新たな取り組みとして、農業に興味のある若者を米のパッケージで募集し、実際に農業体験が出来る日本初の求人米「あととりむすこ」の販売を 2017 年 4 月より都内を中心に開始。購入特典として、共同開発者である地元米農家の遠藤初夫さんによる 5 月に田植え教室を、9 月に稲刈り教室を実施。その取り組みが評価され、2017 年度グッドデザイン賞の受賞となりました。



GOOD DESIGN
AWARD 2017



現在、日本では若者の農業人口の減少が進み、後継者不足が大きな課題となっています。農家の平均年齢は 67 歳で 29 歳以下の農家は 3%未滿。（農林水産省「農業構造動態調査」）

キッズバレイはその解決手段として若者へ農業に興味を持ってもらうきっかけを作るために、一番の広告である米のパッケージに求人情報を記載し、求人対象者には、生産者による田植え・稲刈り教室を体験して頂ける日本初の求人米「あととりむすこ」を開発いたしました。

【あととりむすこ WEB サイト】

<http://www.atotorimusuko.com>

【あととりむすこは】

日本発の求人米「あととりむすこ」は、群馬県桐生市黒保根町で生産されています。赤城山のすそ野に位置し、美味しいお米をつくるうえで重要な「きれいな水」「昼夜の大きな寒暖差」という条件を満たした、豊かな自然環境に恵まれたお米は、全国最高レベルの食味スコアを誇ります。一方、同町は2007年に桐生市に合併されるまで、人口約2700人の過疎地域「黒保根村」だったこともあり、農業の後継者探しが大きな課題となっています。

求人募集するうえで、農家の一番の広告は、つくった美味しい作物である。という考えの元、求人米「あととりむすこ」は生まれました。購入したお米の美味しさを体感したうえで、その生産者による農業体験を直接受けることで、農業への関心が高まることを期待しています。

【仕様・価格】

製品名	内容量	希望小売価格
求人米『あととりむすこ』	1kg	800円(税込)

【米農家プロフィール】

遠藤初夫氏（65歳） - 黒保根おいしいお米をつくる会代表

まだ早期退職が一般的でなかった時代に、周りからの反対を押し切って、大手メーカーの部長職を辞職して地元の黒保根に。持ち前のリーダーシップと行動力で、黒保根の約200人の米生産者をたばねて、黒保根おいしいお米をつくる会を結成。企業にてマーケティングを経験してきたからこそ生まれた、ブランド米にする視点で生産している「くろほの雫」は、卸す前に完売になる幻のお米とも呼ばれる。現在は地元NPOキッズバレイと協業し、子供の食育をテーマに子供の田植え・稲刈り体験などを開催。



【取組の様子】

●販売

銀座に位置する群馬のアンテナショップぐんまちゃん家を中心に、二子玉川、恵比寿など都内数か所にて販売会を行い、それぞれ商品は完売いたしました。好評により、ぐんまちゃん家では当初予定していた1か月間の販売期間から、さらに1か月延長して5月末までの販売となりました。



●農業体験：田植え教室

5月27日（土）群馬県桐生市にて、求人米「あととりむすこ」生産者の遠藤初夫氏による田植え教室を開催いたしました。都内や群馬市内にて販売した「あととりむすこ」購入者および、地元の子供たち計150名のみなさまに参加いただきました。



●農業体験：稲刈り教室

9月24日（土）同桐生市にて、5月に植えた苗の稲刈り体験教室を行いました。計100人のみなさまに参加いただきました。



農業体験の様子（動画）：<https://youtu.be/kzAEDuTLGQc>

【Good Design 賞 審査員評価コメント】

「米のパッケージに求人広告を載せるというアイデアが素晴らしい。美味しい米を食べた人が、味覚も含めて米農家に興味を持つきっかけをつくりだしており、五感に訴える求人広告だといえよう。実際に農家の跡取りになった事例はまだないそうなので、今後の展開に期待したい。」

【主催団体 NPO 法人キッズバレイ代表コメント】

「桐生市黒保根のお米は、地元ではおいしいお米として有名でしたが、全国区で有名ということではなく、後継者不足にも悩まされていました。キッズバレイでは、3年前から「お米の学校」を立ち上げ、地元の子どもたちに米作りに親んでもらう環境をつくってきました。生産者と消費者の距離を縮め関心を持ってもらうことが、課題解決の第一歩。今回、求人米「あととりむすこ」のお米を食べてくださった方、興味を持ってネットで検索してくださった方、150km離れた東京から農業体験に参加してくださった方、それぞれのアクションが地域の未来を変える力があると信じています。」

【主催団体：NPO 法人キッズバレイについて】

桐生の若者と子育て世代の、仕事と暮らしを支援することで地域経済活性化を目指す NPO 法人。主に以下の事業を展開しています。

1. 桐生アフタースクール（市民先生による子供向け体験プログラム）
2. ビジネス支援事業（創業支援、経営サポート）
3. ママの WA きりゅう事業（ママ達の仕事と暮らしを支援）
4. コミュニティ&コワーキングスペース「cocotomo」運営事業
5. 桐生のポータルサイト「おやここ」運営事業（結婚・妊娠・出産・子育てサポート）

概要 <http://kids-valley.org/aboutus/>

— 本件に関するお問い合わせ先 —
求人米「あととりむすこ」事務局 担当 星野
TEL: 0277-46-7486 MAIL: atotorimusuko@gmail.com